

## 3-2. 社会福祉施設

### I 保育所、児童館

#### A. 施設概要

乳幼児の保育及び子どもの健全な成長と支援を行うため、市立保育所5施設、児童館5施設の児童福祉施設を設置しています。

保育所の定員は、安慶名保育所では90名です。その他の保育所は各60名で、5保育所の定員合計は330名です。

各保育所には、保育室、遊戯室、園庭、厨房、トイレ、倉庫、事務室等が整備されており、敷地面積は最も広い安慶名保育所が3,220㎡、きむたか保育所が1,361㎡であり、施設によって敷地面積に差があります。定員一人当たりの敷地面積をみると、与那城保育所が37.2㎡/人で最も広がっています。

各児童館には、共通して事務室、図書室、集会室、遊戯室（体育館）が整備されており、これに加えて、みどり町児童センター、なかきす児童センター、いしかわ児童館では、学童クラブが整備されています。

#### ■主な業務内容

保育所：日々保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児、幼児又はその他の児童を保育する  
児童センター・児童館：0歳～18歳未満の子どもを対象とした児童福祉施設の管理・運営

#### ■保育所・児童館の一覧

No	施設名	定員	施設構成	敷地面積
6	豊原保育所	60名	保育室・遊戯室・園庭・厨房・トイレ・倉庫・事務室 等	2,117㎡ (35.3㎡/人)
7	安慶名保育所	90名	〃	3,220㎡ (35.8㎡/人)
8	石川保育所	60名	〃	1,670㎡ (27.8㎡/人)
9	きむたか保育所	60名	〃	1,361㎡ (22.7㎡/人)
10	与那城保育所	60名	〃	2,232㎡ (37.2㎡/人)
11	みどり町児童センター		事務室・図書室・遊戯室・集会室兼体育館・学童クラブ室	930㎡
12	宮城児童館		事務室・図書室・集会室・遊戯室（体育館）	1,229㎡
13	屋慶名児童館		事務室・図書室・集会室・遊戯室（体育館）	1,254㎡
14	なかきす児童センター		事務室・図書室・遊戯室・集会室兼体育館・学童クラブ室	1,641㎡
15	いしかわ児童館		事務室・図書室・遊戯室（集会室兼体育館）・学童クラブ室	511㎡

\*（ ）：保育所定員一人当たり敷地面積



## B. 建築物の状況

保育所のうち建築年が最も古いのは、昭和 62(1987)年に建築した石川保育所であり、築後 26 年が経過し建物の耐用年限 47 年まであと 21 年となっています。

児童館のうち建築年が最も古いのは、昭和 60(1985)年に建築した宮城児童館であり、築後 28 年が経過し建物の耐用年限 47 年まであと 19 年となっています。

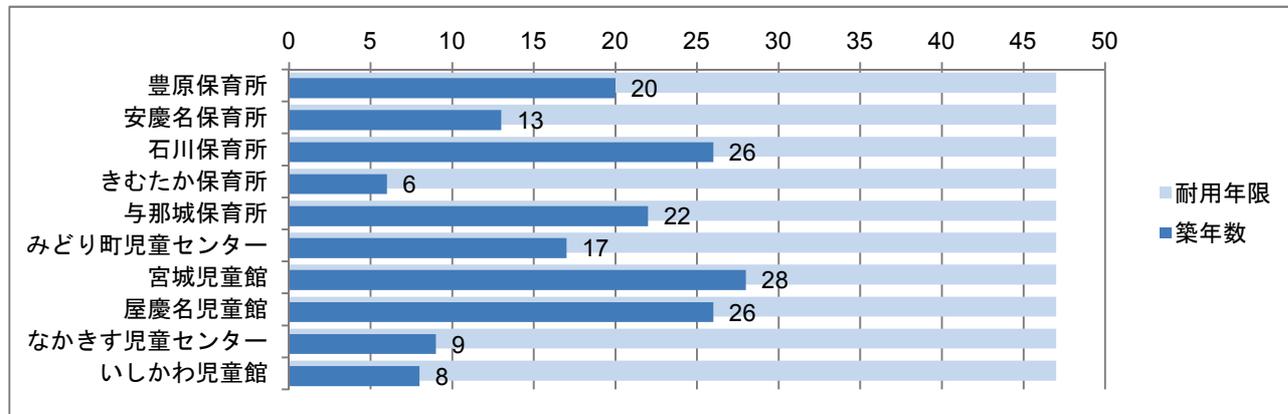
保育所及び児童館は、鉄筋コンクリート造 1 階建ての建物で、堅牢かつ耐火性能に優れています。

### ■保育所・児童館の建築年・規模・構造・建築面積・延床面積

施設名	建築年	建物規模	建物の構造	建築面積	延床面積
豊原保育所	平成 5(1993) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	423 m <sup>2</sup>	374 m <sup>2</sup> (6.2 m <sup>2</sup> /人)
安慶名保育所	平成 12(2000) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	730 m <sup>2</sup>	730 m <sup>2</sup> (8.1 m <sup>2</sup> /人)
石川保育所	昭和 62(1987) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	700 m <sup>2</sup>	623 m <sup>2</sup> (10.4 m <sup>2</sup> /人)
きむたか保育所	平成 19(2007) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	619 m <sup>2</sup>	491 m <sup>2</sup> (8.2 m <sup>2</sup> /人)
与那城保育所	平成 3(1991) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	571 m <sup>2</sup>	410 m <sup>2</sup> (6.8 m <sup>2</sup> /人)
みどり町児童センター	平成 8(1996) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	452 m <sup>2</sup>	418 m <sup>2</sup>
宮城児童館	昭和 60(1985) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	438 m <sup>2</sup>	340 m <sup>2</sup>
屋慶名児童館	昭和 62(1987) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	496 m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup>
なかきす児童センター	平成 16(2004) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	600 m <sup>2</sup>	496 m <sup>2</sup>
いしかわ児童館	平成 17(2005) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	349 m <sup>2</sup>	332 m <sup>2</sup>

\* ( ): 保育所定員一人当たり延床面積

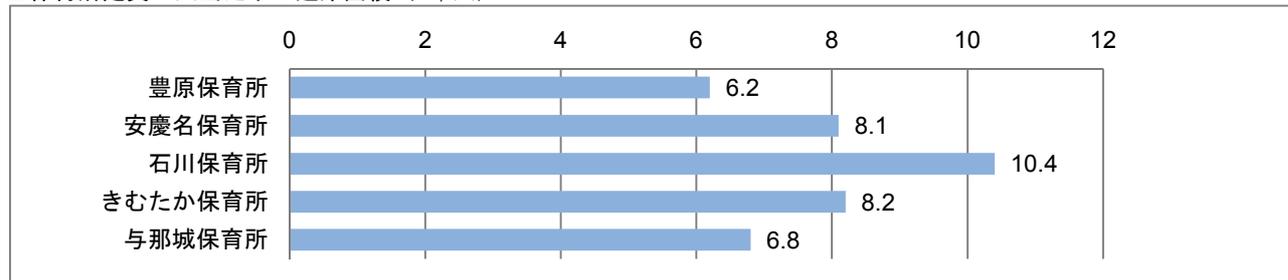
### ■保育所・児童館の築年数(年)



\* 耐用年限は、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」を参考に、保育所と児童館はいずれも学校用の建物(47年)とみなしました。

保育所の定員一人当たりの延床面積をみると、石川保育所が最も広く 10.4 m<sup>2</sup>/人で、その一方最も狭いのは豊原保育所の 6.2 m<sup>2</sup>/人です。

### ■保育所定員一人当たりの延床面積 (m<sup>2</sup>/人)



すべての保育所及び児童館は、昭和 56(1981)年の建築基準法の改正後に建築された建築物であり、新耐震構造となっているため、特に耐震診断及び耐震補強の必要はありません。

バリアフリー化についてみると、保育所では未対応の箇所が多く見られます。一方、児童館では出入口、廊下等、トイレ、アプローチにおいては対応しており、一部では駐車場や視覚障害者誘導用ブロックの整備も行われています。

保育所及び児童館は、これまで外壁、屋根、設備等の大規模な改修工事は行われていません。

■保育所・児童館の耐震状況・バリアフリー状況

施設名	耐震診断の有無	耐震補強の有無	バリアフリー化（箇所）							視覚障害者誘導用ブロック
			出入口	廊下等	階段	エレベーター	トイレ	駐車場	アプローチ	
豊原保育所	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—
安慶名保育所	—	—	×	×	—	—	×	×	○	—
石川保育所	—	—	×	×	—	—	×	—	×	—
きむたか保育所	—	—	○	○	—	—	×	—	○	—
与那城保育所	—	—	×	×	—	—	×	—	×	—
みどり町児童センター	—	—	○	○	—	—	○	○	○	×
宮城児童館	—	—	○	○	—	—	○	×	○	×
屋慶名児童館	—	—	○	○	—	—	○	×	○	×
なかきす児童センター	—	—	○	○	—	—	○	○	○	○
いしかわ児童館	—	—	○	○	—	—	○	○	○	○

C. 管理運営の状況

保育所5施設は直営により保育課が管理しており、一施設当たりの管理に関わる正規職員は0.4人～0.5人です。

児童館は5施設とも指定管理者による管理運営が行われています。

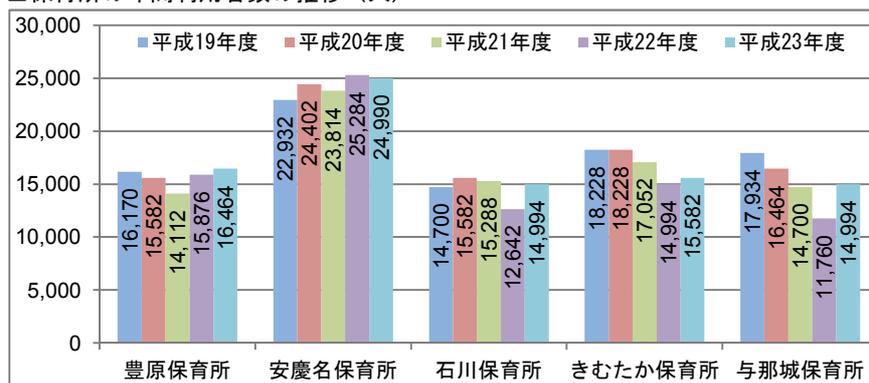
■保育所・児童館の管理形態等

施設名	担当部署	管理形態	正規職員数(人)	利用時間	休所(館)日	開館日数(日)
豊原保育所	保育課	直営	0.4	7:30～18:30	日・祝日・慰霊の日・年末年始	294
安慶名保育所	保育課	直営	0.5	7:30～18:30	〃	294
石川保育所	保育課	直営	0.4	7:30～18:30	〃	294
きむたか保育所	保育課	直営	0.4	7:30～18:30	〃	294
与那城保育所	保育課	直営	0.4	7:30～18:30	〃	294
みどり町児童センター	児童家庭課	指定管理者	0	10:00～18:00	〃	294
宮城児童館	児童家庭課	指定管理者	0	10:00～18:00	〃	294
屋慶名児童館	児童家庭課	指定管理者	0	10:00～18:00	〃	294
なかさす児童センター	児童家庭課	指定管理者	0	10:00～18:00	〃	294
いしかわ児童館	児童家庭課	指定管理者	0	10:00～18:00	〃	294

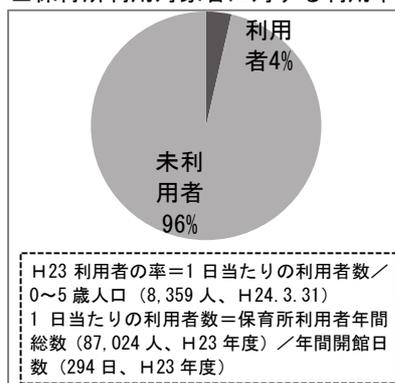
保育所の年間利用者数をみると、安慶名保育所は増加傾向であり、きむたか保育所と与那城保育所は減少傾向となっています。平成23(2011)年度の年間利用者総数は87,024人、一日当たりの利用者数は平均296人/日であり、利用対象者である本市内の0～5歳人口8,359人の約4%にあたります。

児童館の年間利用者数をみると、みどり町児童センターでは平成22(2010)年度に一旦急増したものの平成23(2011)年度は減少しています。また、屋慶名児童館といしかわ児童館では減少傾向となっています。平成23(2011)年度の年間利用者総数は70,622人、一日当たりの利用者数は平均240人/日であり、利用対象者である本市内の6～11歳人口8,687人の約3%にあたります。

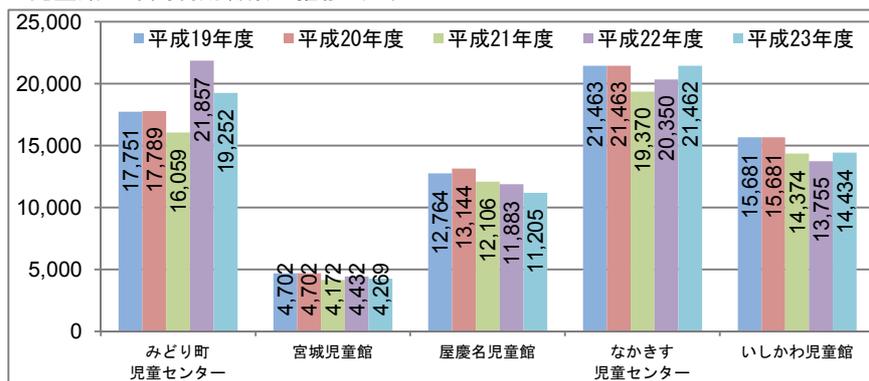
■保育所の年間利用者数の推移(人)



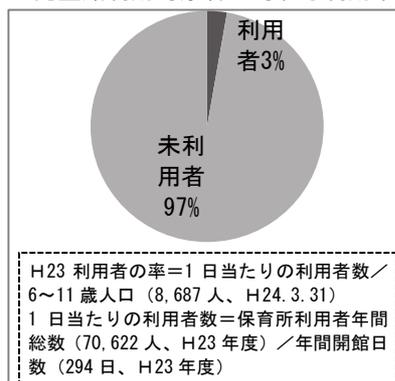
■保育所利用対象者に対する利用率



■児童館の年間利用者数の推移(人)



■児童館利用対象者に対する利用率



保育所の年間管理運営経費は、ほぼ横ばいで推移しており、平成 23(2011)年度では定員 90 名の安慶名保育所で 30,022 千円、その他の保育所で 20,000 千円前後となっています。

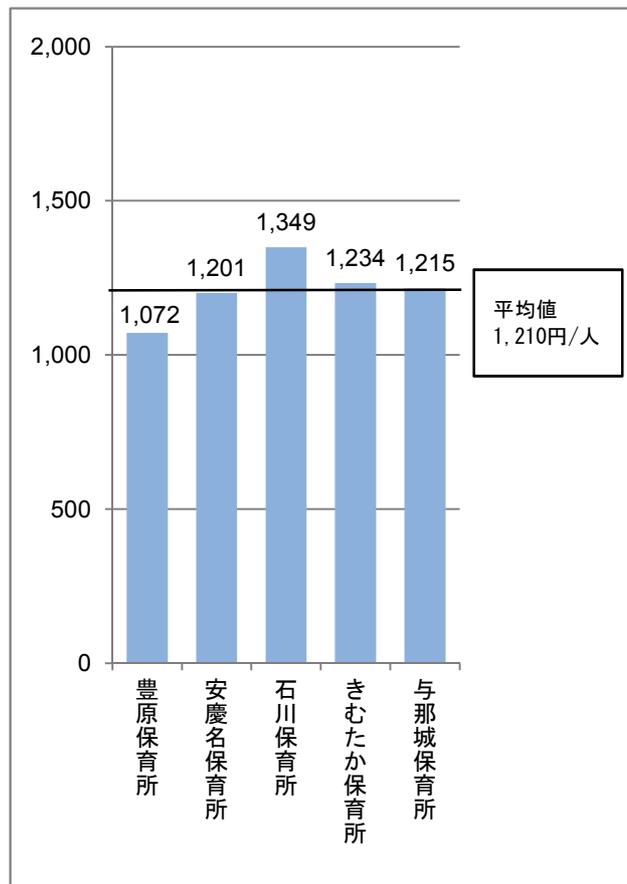
■保育所・児童館の年間管理運営経費の推移（千円）

施設名	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
豊原保育所	17,462	17,534	16,614	15,802	17,644
安慶名保育所	22,273	30,511	30,850	28,674	30,022
石川保育所	16,996	18,092	15,700	15,257	20,225
きむたか保育所	19,296	21,413	19,050	16,315	19,222
与那城保育所	16,468	16,058	15,579	17,712	18,225
みどり町児童センター	6,479	6,972	6,972	6,972	6,972
宮城児童館	3,051	3,466	3,466	3,466	3,466
屋慶名児童館	3,590	4,010	4,010	4,010	4,010
なかきす児童センター	6,922	7,025	7,025	7,025	7,025
いしかわ児童館	5,614	6,107	6,107	6,107	6,107

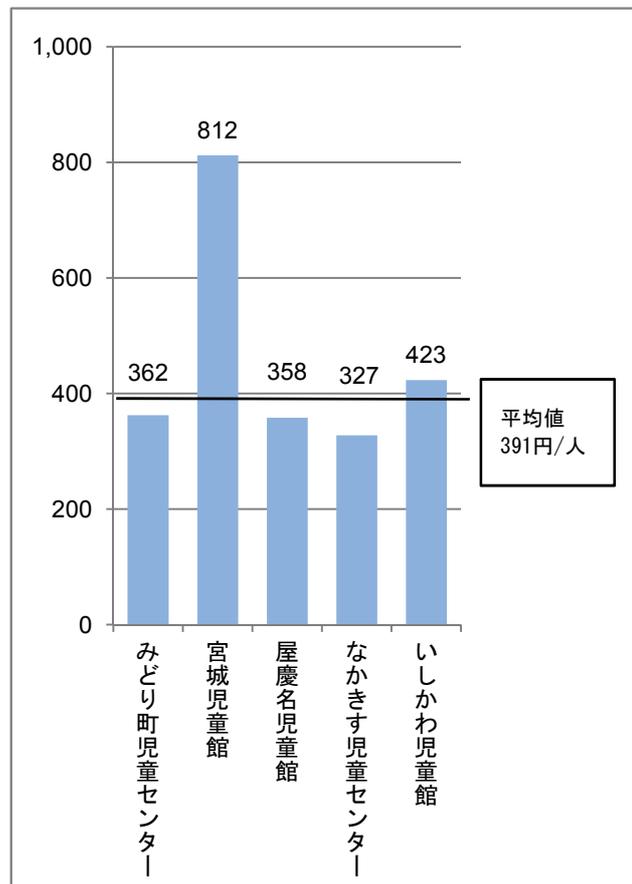
平成 23(2011)年度の利用者一人当たりの年間管理運営経費をみると、石川保育所が最も高く 1,349 円/人、次いで、きむたか保育所が 1,234 円/人、与那城保育所が 1,215 円/人となっており、安慶名保育所と豊原保育所は平均以下となっています。

児童館の年間管理運営経費もほぼ横ばいで推移しており、平成 23(2011)年度の利用者一人当たりの年間管理運営経費をみると、宮城児童館が最も高く 812 円/人であり、他の 4 施設と比較すると約 2 倍高くなっています。

■平成 23(2011)年度の保育所利用者一人当たりの年間管理運営経費（円/人）



■平成 23(2011)年度の児童館利用者一人当たりの年間管理運営経費（円/人）



## Ⅱ 福祉施設、老人福祉施設

### A. 施設概要

福祉施設としては、うるま市の社会福祉事業の推進と市民の福祉増進を図るため「社会福祉センター」を2施設、市民の健康増進と社会福祉に対する理解を深め、健康や福祉活動に対する積極的な参加を促進する「健康福祉センター」を1施設の計3施設を設置しています。

また、老人福祉施設としては、地域の高齢者、住民に対し教養の向上及びレクリエーションの場を提供し高齢者の心身の健康増進を図るため「老人福祉センター」を1施設、「老人憩いの家」を1施設、「老人クラブ関連施設」を2施設、「ゲートボール場」を1施設、要支援者又は要介護者の在宅生活の継続を図るため「介護保険地域密着型サービス施設」を1施設の計6施設を設置しています。

#### ■主な業務内容

社会福祉センター：社会福祉協議会業務

健康福祉センター：生活福祉課・健康支援課・社会福祉協議会・プール・運動

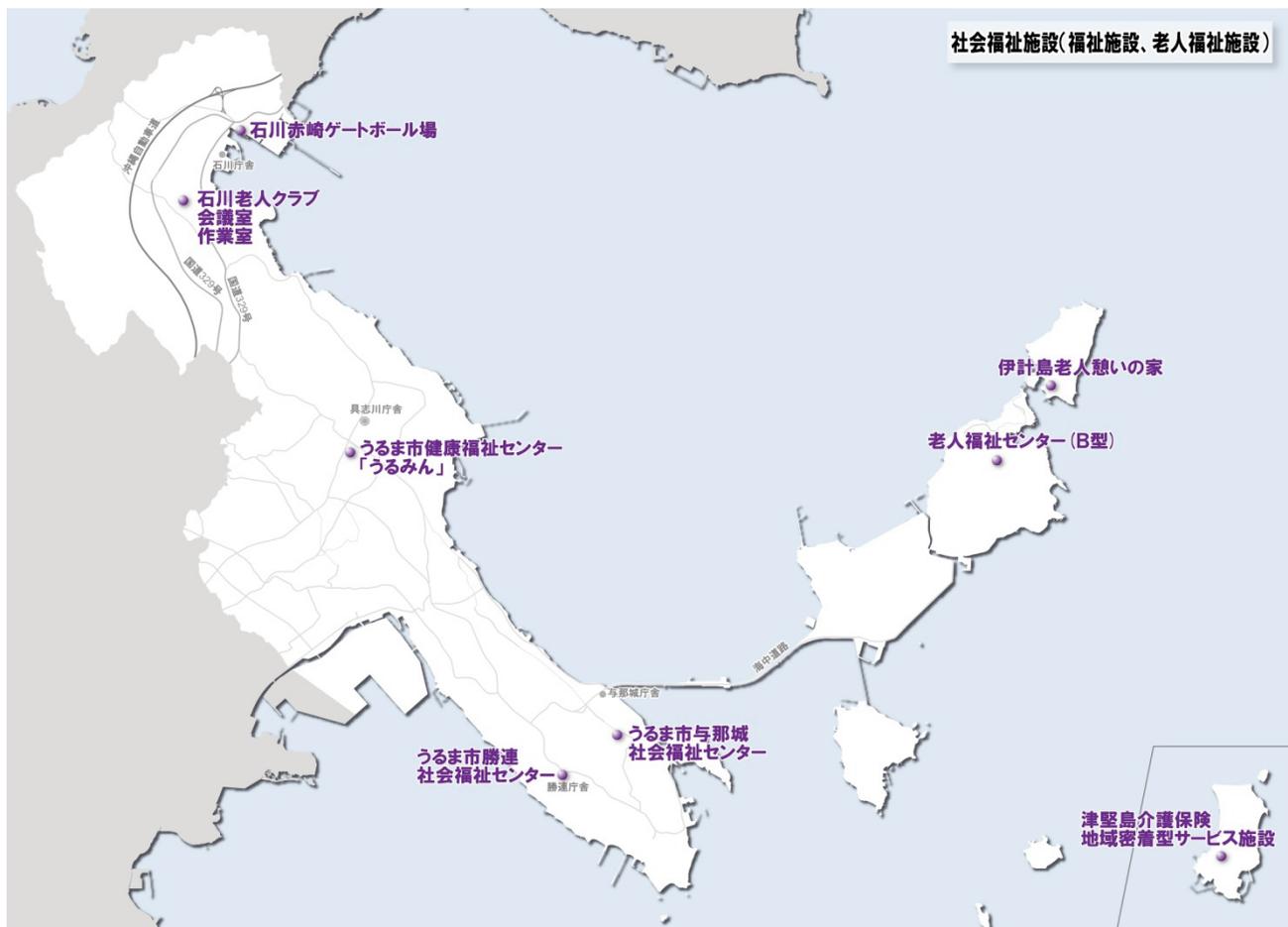
老人福祉施設：地域の高齢者、住民に対し教養の向上及びレクリエーションの場を提供し高齢者の心身の健康増進を図る

介護保険地域密着型サービス施設：小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護

#### ■福祉施設、老人福祉施設の一覧

No	施設名	施設構成	敷地面積
16	うるま市勝連社会福祉センター	事務室・会議室	4,354 m <sup>2</sup> (勝連庁舎と同一敷地)
17	うるま市与那城社会福祉センター	事務室・会議室・厨房・研修室・訓練室・浴室・ホール等	1,290 m <sup>2</sup>
18	うるま市健康福祉センター「うるみん」	事務室・会議室・ホール・視聴覚室・調理実習室・プール・運動室等	7,537 m <sup>2</sup>
19	老人福祉センター（B型）	事務室・集会室・健康相談室	1,550 m <sup>2</sup>
20	伊計島老人憩いの家	事務室・集会室・舞台・更衣室	292 m <sup>2</sup>
21	津堅島介護保険地域密着型サービス施設	食堂・機能訓練室・居室・宿泊室・厨房・倉庫・管理人室	1,172 m <sup>2</sup>
22	石川老人クラブ会議室	事務室・会議集会室	5,372 m <sup>2</sup>
23	石川老人クラブ作業室	陶芸室	5,372 m <sup>2</sup> (上記と同一敷地)
24	石川赤崎ゲートボール場	ゲートボール場	1,851 m <sup>2</sup>

■ 福祉施設、老人福祉施設の位置図



## B. 建築物の状況

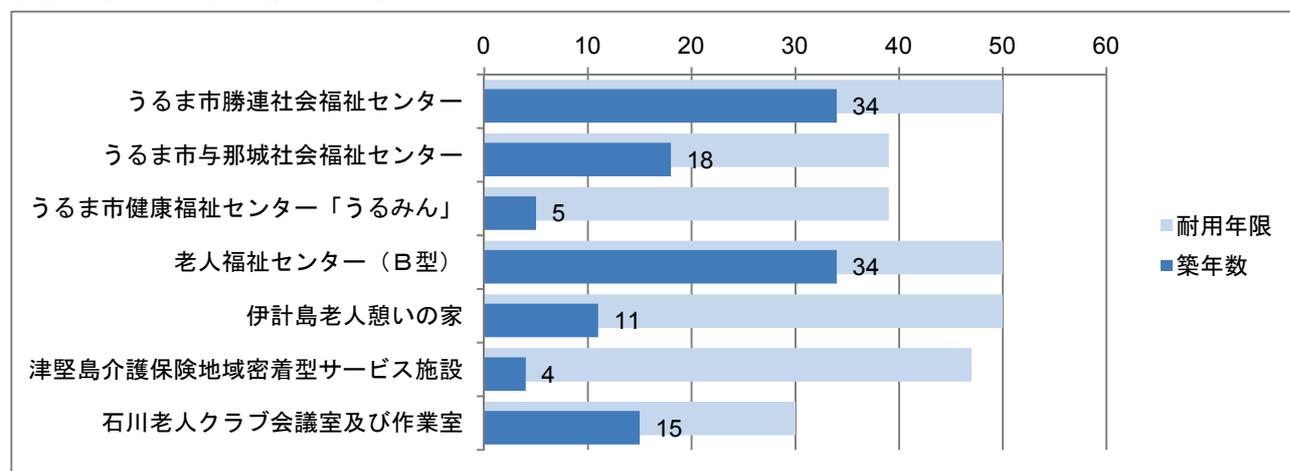
福祉施設、老人福祉施設のうち建築年が最も古いのは、昭和 54(1979)年に建築したうるま市勝連社会福祉センター及び老人福祉センター（B型）であり、築後 34 年が経過し建物の耐用年限 50 年まであと 16 年となっています。

福祉施設、老人福祉施設のうち、石川老人クラブ会議室・作業室を除く建物は、いずれも鉄筋コンクリート造 1～3 階建ての建築で、耐火性能に優れています。

### ■福祉施設、老人福祉施設の建築年・規模・構造・建築面積・延床面積

施設名	建築年	建物規模	建物の構造	建築面積	延床面積
うるま市勝連社会福祉センター	昭和 54(1979) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	1,102 m <sup>2</sup>	1,279 m <sup>2</sup>
うるま市与那城社会福祉センター	平成 7(1995) 年	地上 3 階	鉄筋コンクリート造	433 m <sup>2</sup>	1,193 m <sup>2</sup>
うるま市健康福祉センター「うるみん」	平成 20(2008) 年	地上 3 階 地下 1 階	鉄筋コンクリート造	3,057 m <sup>2</sup>	7,572 m <sup>2</sup>
老人福祉センター（B型）	昭和 54(1979) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	330 m <sup>2</sup>	407 m <sup>2</sup>
伊計島老人憩いの家	平成 14(2002) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	154 m <sup>2</sup>	150 m <sup>2</sup>
津堅島介護保険地域密着型サービス施設	平成 21(2009) 年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	560 m <sup>2</sup>	486 m <sup>2</sup>
石川老人クラブ会議室	平成 10(1998) 年	地上 1 階	鉄骨造	65 m <sup>2</sup>	65 m <sup>2</sup>
石川老人クラブ作業室	—	地上 1 階	鉄骨造	—	—
石川赤崎ゲートボール場	—	—	—	—	—

### ■福祉施設、老人福祉施設の築年数（年）



\*耐用年限は、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」を参考としました。

うるま市勝連社会福祉センターは事務所用の建物（50 年）、うるま市与那城社会福祉センター及び「うるみん」は病院用の建物（39 年）とみなしました。

老人福祉センターのうち、津堅島介護保険地域密着型サービス施設は寄宿舍用の建物（47 年）、その他の施設は事務所用の建物（50 年）とみなしました。

なお、石川老人クラブは、骨格材肉厚が 3mm～4mm 未満の鉄骨造事務所用の建物（30 年）と想定しました。

うるま市勝連社会福祉センター及び老人福祉センター（B型）の2施設は、昭和56(1981)年の建築基準法の改正前に建築された建築物であり、旧耐震基準で建てられていますが、耐震診断、耐震補強ともに未実施となっています。その他の施設は、いずれも新耐震構造となっているため、特に耐震診断及び耐震補強の必要はありません。

バリアフリー化についてみると、高齢者を中心とした市民が日常的に利用する施設であることから対応が求められますが、老人福祉センター（B型）や伊計島老人憩いの家では出入口及び廊下等のみの対応にとどまっています。

老人福祉センター（B型）では、平成18(2006)年、平成20(2008)年に浄化槽設備や消防設備の改修事業が実施され、その他の施設では、これまで外壁、屋根、設備等の大規模な改修工事は行われていません。

■福祉施設、老人福祉施設の耐震状況・バリアフリー状況

施設名	耐震診断の有無	耐震補強の有無	バリアフリー化（箇所）							視覚障害者誘導用ブロック
			出入口	廊下等	階段	エレベーター	トイレ	駐車場	アプローチ	
うるま市勝連社会福祉センター	未実施	未実施	○	○	○	—	×	—	○	○
うるま市与那城社会福祉センター	—	—	○	○	○	○	×	×	×	×
うるま市健康福祉センター「うるみん」	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
老人福祉センター（B型）	未実施	未実施	○	○	—	—	×	×	×	×
伊計島老人憩いの家	—	—	○	○	—	—	×	×	×	×
津堅島介護保険地域密着型サービス施設	適合	不要	○	○	○	—	○	○	○	○
石川老人クラブ会議室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石川老人クラブ作業室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石川赤崎ゲートボール場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

### C. 管理運営の状況

うるま市勝連社会福祉センター、うるま市与那城社会福祉センター、伊計島老人憩いの家、津堅島介護保険地域密着型サービス施設の4施設では、指定管理者による管理運営が行われています。

うるま市健康福祉センター「うるみん」は直営により生活福祉課が管理しており、一施設当たりの管理に関わる正規職員は0.1人です。

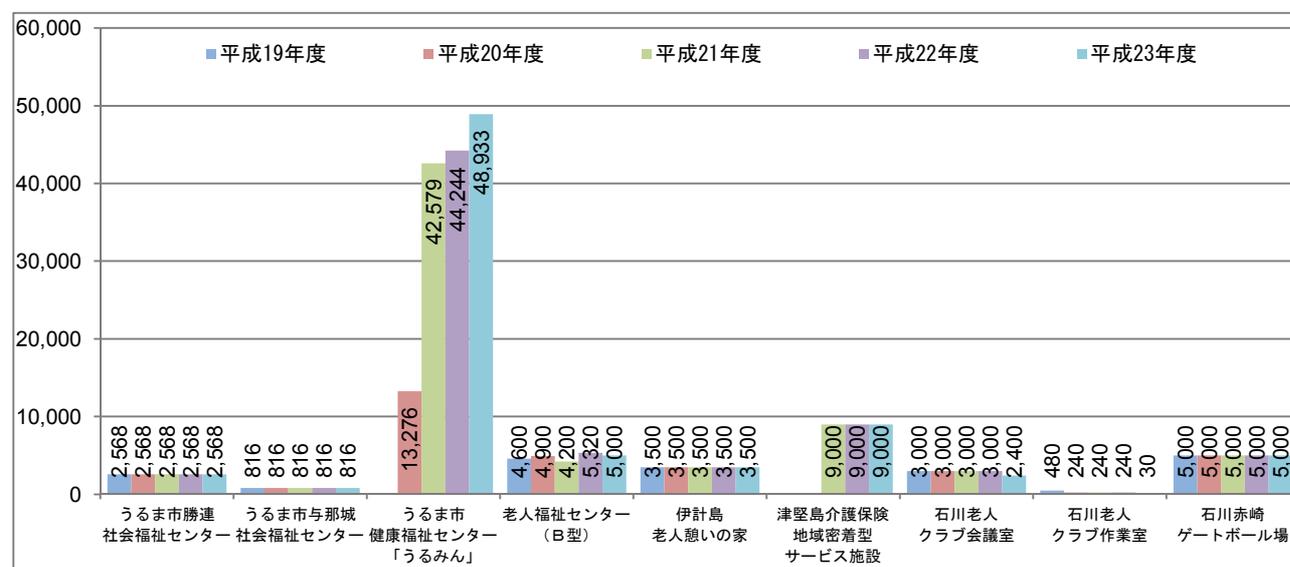
そのほかの施設は直営により介護長寿課が管理しており、一施設当たりの管理に関わる正規職員は0.01人～0.05人です。

#### ■福祉施設、老人福祉施設の管理形態等

施設名	担当部署	管理形態	正規職員数(人)	利用時間	休所(館)日	開館日数(日)
うるま市勝連社会福祉センター	生活福祉課	指定管理者	0	8:30～17:15	土・日・祝日・慰霊の日・年末年始	245
うるま市与那城社会福祉センター	生活福祉課	指定管理者	0	8:30～17:15	日曜日・5月5日・12月31日～1月3日	300
うるま市健康福祉センター「うるみん」	生活福祉課	直営	0.1	8:30～22:00	火曜日(プール・運動室)・年末年始	359
老人福祉センター(B型)	介護長寿課	直営	0.05	9:00～16:00	土・日・祝日・慰霊の日・年末年始	245
伊計島老人憩いの家	介護長寿課	指定管理者	0	8:30～17:15	使用申請時	245
津堅島介護保険地域密着型サービス施設	介護長寿課	指定管理者	0	0:00～24:00	なし	365
石川老人クラブ会議室	介護長寿課	直営	0.02	8:30～17:15	土・日・祝日・慰霊の日・年末年始	245
石川老人クラブ作業室	介護長寿課	直営	0.02	8:30～17:15	〃	245
石川赤崎ゲートボール場	介護長寿課	直営	0.01	8:30～17:15	〃	245

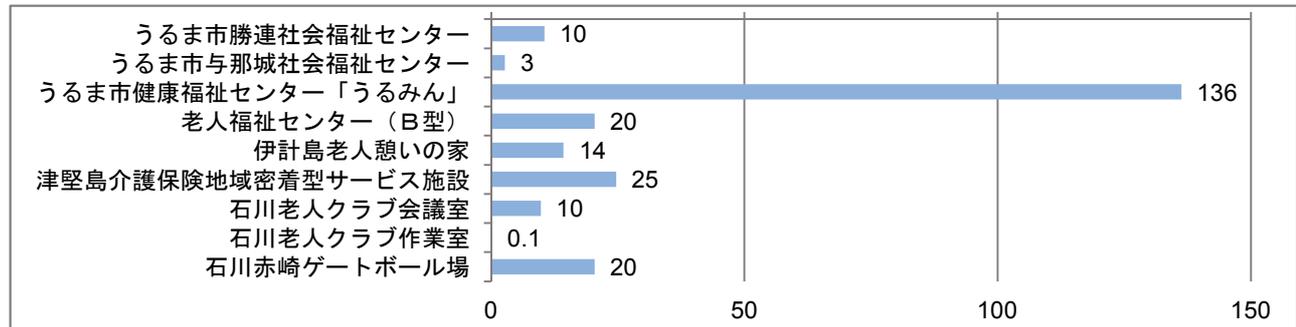
福祉施設、老人福祉施設の年間利用者数は、平成20(2008)年に整備されたうるま市健康福祉センター「うるみん」が4万人台を推移し、突出して多くなっています。次いで、平成21(2009)年に整備された津堅島介護保険地域密着型サービス施設が9,000人の利用となっています。

#### ■福祉施設、老人福祉施設の年間利用者数の推移(人)



平成 23(2011)年度の一日当たりの利用者数をみても、うるま市健康福祉センター「うるみん」は 136 人/日と突出しており、その他の施設は 10～25 人/日程度となっています。

■平成 23(2011)年度の福祉施設、老人福祉施設の一日当たりの利用者数（人/日）



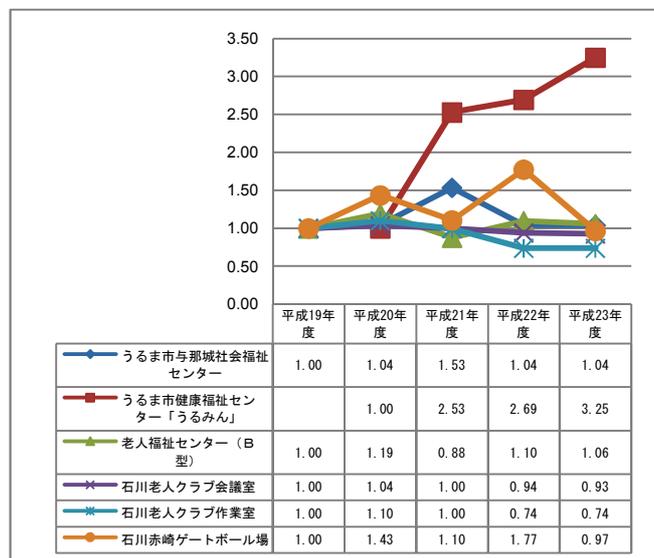
福祉施設、老人福祉施設の年間管理運営経費は、平成 20(2008)年に開館し利用者が増加している、うるま市健康福祉センター「うるみん」では大幅に増加していますが、その他の施設はほぼ横ばいとなっています。

平成 23(2011)年度の利用者一人当たりの年間管理運営経費をみると、石川赤崎ゲートボール場が 22 円/人で最も安く、次いで石川老人クラブ会議室が 79 円/人であり、平成 23(2011)年度の利用者が少ない石川老人クラブ作業室 (10,161 円/人) が最も高くなっています。なお、平均は 1,434 円/人です。

■福祉施設、老人福祉施設の年間管理運営経費の推移（千円）

施設名	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
うるま市勝連社会福祉センター	0	0	0	0	0
うるま市与那城社会福祉センター	1,010	1,055	1,549	1,049	1,049
うるま市健康福祉センター「うるみん」	800	26,674	67,450	71,845	86,671
老人福祉センター（B型）	771	919	677	846	815
伊計島老人憩いの家	0	0	0	0	0
津堅島介護保険地域密着型サービス施設	0	0	0	0	0
石川老人クラブ会議室	205	212	204	193	190
石川老人クラブ作業室	413	455	412	305	305
石川赤崎ゲートボール場	115	165	127	204	111

■福祉施設、老人福祉施設の年間管理運営経費の推移  
(平成 19(2007)年度の年間管理運営経費を 1.00 とした場合、  
「うるみん」のみ平成 20(2008)年度の年間管理運営経費を  
1.00 とした場合。)



■平成 23(2011)年度の福祉施設、老人福祉施設利用者一人  
当たりの年間管理運営経費（円/人）

